

学びの広場

- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ

地域で学び、活動する
皆さんを応援します

北秋田市
教育委員会

第18回合川少年ドッジボール大会が11月16日、合川体育館で行われ、地区ごとの小学生で編成された11チームが冬を前に白熱したゲームを展開しました。

合川親の会連絡協議会と合川公民館の主催。子どもたちの心身の健康増進と親睦交流を深めることなどを目的としています。

チームは正選手8人、控え選手6人以内の男女混合編成。1セット5分の3セットマッチで、2セット先取で勝ち上がります。異学年同士ながらチームワークは抜群で、会場内からの声援を受け、熱気あふれるゲ

寒さに負けずチームワークを発揮

第18回合川少年ドッジボール大会



11チームが熱戦を繰り広げた第18回合川少年ドッジボール大会

ームで汗を流しました。結果は次の通りです。
▽優勝=北地区Aチーム▽準優勝=川井・道城連合チーム▽3位=上杉Bチーム、南Bチーム

鉱山跡と歴史ロマンに触れる

阿仁公民館「歴史、自然のんびり探勝」講座

阿仁公民館では、阿仁地区の歴史、文化、景勝地にふれながら散策をする「歴史、自然のんびり探勝」講座を10月29日に開催しました。

戸島橋さんを案内人に迎え、吉田～小渕～三枚地区について学びました。風張城跡から対岸の高田城跡、戦国武将が埋蔵金を埋めたと伝えられる天館跡を一望し、戦国ロマンに思いを馳せました。

また、三枚地区にある芭蕉の句碑、三枚鉱山跡、発電所、寺子屋跡など、繁栄の証しを垣間見、地域



風張城跡など阿仁地区内の史跡を巡り歴史のロマンに触れました

の歴史について学習を深めました。

手作りのしめ飾りで新年を迎えませんか

しめ飾りづくり教室

自分でしめ飾りを作り、新鮮な気持ちで新年を迎えてみませんか。

- 日時 12月14日(日)午前10時～午後3時
- 場所 森吉コミュニティセンター
- 講師 木村正彦さん
- 材料費 300円程度
- 定員 15人(定員になり次第締め切り)
- 対象 小学生以上どなたでも

(親子での参加もできます)
申込期限 12月10日(水)
その他 昼食を持参してください。
申込み・問合せ
森吉公民館 ☎72-3259

プロの指導でそば打ちに挑戦

そば打ち講座

プロの指導でそば打ちに挑戦！自分で打つたそばは味わいも格別です。

- 日時 12月18日(木)午前9時～正午
- 場所 合川農村環境改善センター
- 講師 若松康夫さん
- 材料代 1400円程度(持ち帰り含)
- 持ち物 エプロン、三角巾、手拭用タオル、筆記用具等
- 定員 10人(申込み多数の場合は抽選)
- 申込期限 12月8日(月)
- 合川公民館 ☎78-2114

森吉図書館 学校図書室と連携

児童の読書活動を推進

市立森吉図書館では読書週間を含む1ヶ月間、北秋田市内の小学校3校(合川南小学校・合川北小学校・前田小学校)へ各200冊、計600冊の本を貸し出しました。初めての試みでしたが、児童の読書活動の推進を目的に、県立図書館、鷹巣図書館との連携で実施したものです。



▲図書館から貸し出された本は、子どもたちの興味を引くように並べられました

貸し出しにあたっては、事前に県立図書館及び森吉・鷹巣図書館の担当が学校へ出向き蔵書を確認の上で学校からの要望・リクエストなどを調整しながら、各図書館の本を準備しました。配置についても、県立図書館の

助言を参考に、子どもたちの関心を高められるよう心がけました。その結果、学校図書室は普段の雰囲気と違う装いとなりました。児童たちは、図書担当の先生から「今日から借りられますよ」と説明を受けると、本が並べられた書架やテーブルを取り囲みどの本を選ぼうかと目を輝かせていました。

本格的なフランス料理に挑戦

鷹巣子ども会育成連絡協議会

北秋田市鷹巣子ども会育成連絡協議会(湊屋啓二会長)主催の「親子de(で)フランス料理」が11月15日、市中央公民館で開催され、16組の親子35人が本格的なフランス料理にチャレンジしました。

講師の佐藤重任(しげとう)さんが用意したメニューは、『牛肉の赤ワイン煮ポルドー風ポム・ドフィノワーズ添え』。ラゲールと呼ばれ、シチュー

のように素材をじっくりと煮込む調理法で、フランス料理のなかでも一般的な家庭料理として有名です。佐藤さんは、料理のポイントを説明した後、「一つひとついいねいに作業をすることが美味しく仕上



▲16組の親子が約4時間をかけて本格的なフランス料理に挑戦しました

げるコツ。喜ばせたい人の顔を想い描いて作つて」と話していました。子どもたちは、お父さんたちに手伝ってもらいながら牛肉をたこ糸でしばったり、赤ワインとフォンドポアを加え煮込むなど約4時間をかけて完成させました。心を込めて自分たちで作った料理は、これまで食べたフランス料理の中で一番おいしかったようです。

11団体130人が妙技披露

第18回鷹巣祇園太鼓審査会

(表紙から続く)鷹巣祇園太鼓振興会(今立明会長)の活動は昭和60年「太鼓の里づくり構想」に合わせ、鷹巣銀座通り商店会の青年部が九州



▲祇園太鼓は、ジャンガラと呼ばれる鉦をリード役に2人で呼吸を合わせて打ちます

小倉に伝わる「祇園太鼓」に取り組んだのが始まり。祇園太鼓は、小倉以外で傳承されているのは北秋田市だけといわれています。振興会ではその後、会の活動目標に青少年の健全育成、生涯教育の奨励などを掲げ、各地区の小学校などで太鼓の指導に取り組んでいます。これまで育った会員は1500人以上。太鼓は、地区の祭典やイベント、学校行事などで披露されています。第18回審査会受賞者のうち、最優秀賞と優秀賞は次の通りです。

- 個人の部▽最優秀賞Ⅱ上野拓己(たくみ) 佐藤皓汰(こうた) (鷹巣西小学校区)▽優秀賞Ⅱ相馬諒(りょう) 大関佳也乃(かよの) (鷹巣小学校区)
- 団体の部▽最優秀賞Ⅱ鷹巣西小学校区▽優秀賞Ⅱ鷹巣小学校区